

様式

技術名称	電気防食用流電陽極の出力電流 逆解析工法	技術の分類	維持管理・調査	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	なし	
会社名等	日本防蝕工業株式会社	担当者	技術研究所 田代賢吉	連絡先	大阪支店 前藪06-6356-9800	
技術の概要	電気防食装置の取付工については、30年耐用-2.5A(アンペア)型と記載されている。 維持管理上 陽極の残寿命推定は、詳細定期点検時に潜水作業により確認を行っている。 今回の技術工法では、潜水作業を無くし、安全で低コストな調査で陽極の残寿命が推定できる。			対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)	
				添付資料	パンフの有無	なし
					その他の資料	学会発表・論文発表
技術の特徴	電気防食工の詳細定期点検診断項目において、陽極の消耗調査がある。 従来の診断方法は、潜水士によりアルミニウム合金陽極に付着している腐食生成物を除去後、陽極の形状をメジャーで計測し、その質量から残寿命を推定するものである。 今回の技術は、潜水作業を行わずに一般定期点検で行っている陸上からの電位測定と同等な方法で電位を計測し、その電位分布から流電陽極が発生している出力電流値を逆解析して推定し、流電陽極自身が持つ電気容量から残寿命を計算で求める。 メリットとしては、作業の安全性・経済性が挙げられるが、デメリットとして、逆解析による陽極出力電流の推定値は、測定時点の結果であるため施工からの時間経過等によっては、出力電流値が定常値に安定していない場合がある。従って、年に1度/数回の継続調査することが流電陽極の残寿命の真値により近似する。			その他	特許(出願含む) 4件 (港空研/東京工業大学/日本防蝕工業)	

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。